

公 告

高槻市社会福祉協議会
平成25年度事業・決算報告

平成25年度は「第2次地域福祉活動計画」に基づいた事業の取り組みを強化し「孤独・孤立を解消する方策としての居場所づくり」の展開、CSWを中心に「福祉制度の谷間」にいる要支援者に対する相談・支援体制の強化」に取組み、誰もが安心して暮らせるまちづくりの実現を目指しました。

福祉・生活の相談者

コミュニティ・ソーシャルワーク (CSW) 事業

地域や施設などで相談活動を行うとともに、高齢者、障がい者、児童、引きこもり、サービス支援拒否など外から見えにくい問題に積極的に関わりを持つよう活動しました。

地域みんなで助け合う

地区福祉委員会活動

地区福祉委員会では、子育て中の親子や高齢者が交流する各種サロン活動や、地域の誰もが参加できる交流の場「ふれあい喫茶」を開催し、多くの方が楽しいひとときを過ごされました。

CSW事業

- 担当地区訪問回数 : 778回
- 相談回数 : 1,173回
- サービス利用申請件数 : 118件
- 公的サービスの紹介件数 : 123件
- ケース会議参加数 : 115回
- 啓発事業開催数 : 78回

新役員就任

(2月13日付)

- 宮本 興毅 (副会長)
- 高槻市民生委員
- 児童委員協議会
- (敬称略)

地区福祉委員会活動

(開催数・参加者数)

- 食事サービス : 406回 (17,505人)
- いきいきサロン : 1,579回 (30,408人)
- リハビリサロン : 430回 (10,256人)
- 子育てサロン : 291回 (14,227人)
- ふれあい喫茶 : 1,087回 (38,459人)



親子ではしゃべりひろご広場 (庄所地区)

高齢者地域支えあい事業

- 対象者数 : 3,207人
- 見守り回数 : 107,594回
- ボランティア数 : 1,720人
- 研修会実施 : 2回

ひとり暮らしの高齢者世帯や高齢者夫婦世帯を対象とした地域の声かけ見守り活動「高齢者地域支えあい事業」では、福祉委員が対象者宅を訪問し、声かけを実施しました。「あなたが来てくれることが楽しみ」と話されるなど、高齢者が地域で安心して暮らせる支援を行いました。

暮らしを守る 資金貸付事業

資金貸付は件数、金額ともに減少していますが、貸付の相談は依然として多く、特に教育支援資金は前年度比8件の増加となりました。

生活・介護支援サポーター事業

- 受付件数 : 80件
- サポーター登録人数 : 42人
- サポーター派遣回数 : 170回
- サポーター養成講座 : 1回
- 養成講座 受講人数 : 27人

困りごとの解決支援 生活・介護支援 サポーター事業

介護保険制度等では対応が難しい高齢者の生活ニーズに対応するため、サポーター養成講座を開催し、新しく9名の方がサポーターに登録されました。

外出困難者支援 福祉サービス事業

福祉車両による外出援助では、病院への通院を中心に利用回数が増え、運転ボランティアの研修会や情報交換会を実施しました。また、ケガなどによる一時的な利用や学校や親睦行事への車いすの貸出を行いました。

善意を形に 善意銀行運営事業

篤志家から「将来を担う子どもの教育支援に」との意志のもと設置された「教育支援給付金支給要綱」に基づき、児童養護施設の入所児童5人に対し、総額100万円の進学資金の給付を行いました。



福祉車両が新しくなり、利用者も喜ばれています

福祉サービス事業

- 移送サービス登録者数 : 78人
- 移送サービス延べ利用回数 : 1,589回
- 車椅子延べ貸出回数 : 598回
- 車椅子延べ貸出日数 : 21,863日



車いす体験学習で坂道に悪戦苦闘の小学生(北阿武野地区)

トピックス

ふれあい喫茶の輪が広がっています!

地区福祉委員会が開催するふれあい喫茶は平成25年度に27地区で開催し、開催回数が1,000回を超え、延べ約38,500人が来場されました。



CSWによるふれあい喫茶での福祉相談会(寿栄川添地区)



6月26日に新しくふれあい喫茶がはじまりました(大冠地区)

子育てサロン後にママ友同士で子育てについて話をする方、暮らしや福祉制度について友人やボランティアと話し合う方など「コーヒーを味わいながらのゆったりとした時間を思い思いに過ごしていただきます」。

平成26年度も新たに3地区で実施されます。ぜひお近くの喫茶にご参加ください。

平成26年度 善意銀行預託金 払出事業

社会福祉の増進に貢献する団体・事業を支援する、善意銀行預託金の払い出しを受ける団体が次のとおり決定しました。

- ・高槻筆記通訳グループ「エール」(要約筆記用文字入力パソコンの購入)
 - ・福祉演芸活動「おもちゃ箱」(市民公开发表会の開催)
 - ・社会福祉法人高槻市社会福祉協議会(高齢者疑似体験教材を更新)
- 払い出し総額は381,000円です。

平成25年度 社会福祉法人 高槻市社会福祉協議会 決算公告

資金収支計算書の要旨		事業活動収支計算書の要旨		貸借対照表の要旨	
平成25年 4月 1日～平成26年 3月 31日		平成25年 4月 1日～平成26年 3月 31日		平成26年 3月 31日現在	
(単位:円)		(単位:円)		(単位:円)	
勘定科目	決算額	勘定科目	決算額	勘定科目	当年度末
經常収入	202,942,234	事業活動収入	201,921,682	資産の部	
会費収入	23,146,429	会費収入	23,146,429	流動資産	20,328,240
寄付金収入	2,675,573	寄付金収入	2,675,573	現預金	18,578,428
補助金・受託金収入	164,072,809	補助金・受託金収入	164,072,809	その他の流動資産	1,749,812
共同募金配分金収入	6,037,294	共同募金配分金収入	6,037,294	固定資産	452,396,094
その他の収入	7,010,129	その他の収入	5,989,597	基本財産特定預金	3,000,000
經常支出	198,321,966	事業活動支出	204,113,716	運用財産特定預金	445,836,092
人件費支出	121,321,701	人件費支出	121,321,701	資産合計	472,724,334
事務費支出	6,461,869	事務費支出	6,461,869	負債の部	
事業費支出	23,289,586	事業費支出	23,289,586	流動負債	10,767,769
助成金支出	47,026,010	助成金支出	47,026,010	固定負債	50,666,413
その他の支出	222,800	減価償却費	1,570,160	純資産の部	
經常活動資金収支差額	4,620,268	その他の支出	4,444,390	基本金	3,000,000
施設整備等収入	0	事業活動収支差額	-2,192,034	運用財産基金	391,381,594
施設整備等支出	451,500	事業活動外収入	1,020,552	その他の積立金	3,725,085
施設整備等資金収支等差額	-451,500	事業活動外支出	0	次期繰越活動収支差額	13,183,473
財務収入	3,778,774	事業活動外収支差額	1,020,552	純資産合計	411,290,152
財務支出	7,299,604	經常収支差額	-1,171,482	負債・純資産合計	472,724,334
基金等積立支出	605,831	特別収入	0		
その他の支出	6,693,773	特別支出	0		
財務活動資金収支差額	-3,520,830	特別収支差額	0		
当期資金収支差額合計	647,938	当期活動収支差額	-1,171,482		
前期末支払資金残高	8,912,533	前期繰越活動収支差額	13,780,195		
当期末支払資金残高	9,560,471	当期末繰越活動収支差額	12,608,713		
		運用財産積立金取崩額	7,874,364		
		運用財産積立金積立額	7,299,604		
		次期繰越活動収支差額	13,183,473		

脚注 1 減価償却費の累計額: 21,663,403円
2 退職給与引当金の額: 50,666,413円

注記 1 重要な会計方針
(1) 退職給与引当金の計上方法
平成26年3月31日において全職員が退職した場合に備えて、退職手当規程に基づき計算した本会計年度末における負担額を計上している。

財産目録につきましては、貸借対照表に替えさせていただきます。